

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 66 号	氏 名	延生 卓也
審 査 委 員		主 査 氏 名	池田正浩
		副 査 氏 名	片本 宏
		副 査 氏 名	中里雅光
[論文題名]			
<p>神経ペプチドSはラットの交感神経を亢進して行動量や体温を増加させる Neuropeptide S increases motor activity and thermogenesis in the rat through sympathetic activation. <i>Neuropeptides</i> 65: 21-27 2017.</p>			
[要 旨]			
<p>本研究は、オーファン受容体 GPR154 の内因性リガンドとして発見されたニューロペプチドS（以後NPSと略）の機能を、ラットの生理学的パラメータを測定することを通して、明確にすることを試みたものである。実験の結果から、NPSは交感神経系のトーンを上昇させ、体温やエネルギー消費量を増加させる作用を持つことが考えられた。また、NPS、NPS受容体両方のmRNAの発現解析、およびNPS受容体アンタゴニストを用いた実験結果から、NPS-NPS受容体系は暗期活動期の交感神経トーンを亢進させて体温上昇に関与していることも推測された。</p> <p>今回の結果は、今後、体温、行動、エネルギー消費などの生体機能に関して、NPS-NPS受容体系にも留意して理解を進める必要があることを示す重要なものであり、学位論文として適切であると判断される。</p>			